

吉野の過去と今

そして未来を

考えよう



浄水場

汗見川対岸にようへきかできたので川が増水してきて家まで水かかると危険性が減った。

赤土じゃなくなったため雨水がしみこまず下まで流れ出るようになった。今ある水路では排水がまにあわないので水路を増やしてほしい。

忠云鬼墓地

赤茶色になっている

三倉神社の手水舎は水源ができたので清々だったのが今はにごっている。

公民館の入口付近には、感染症対策として消毒液やマスク、体温計などが設置されていた。また避難者ごとの人数を調べてみる。

	1F和室	2F707A	合計
通常時	12人	28人	40人
感染症対策時	8人	11人	20人

とあって、現在は通常時よりも約半数の人が避難者としてこれない可能性がある



緊急時の連絡先

- 本山町役場 76-2113
- 嶺北消防署 76-2806
- 本山警察庁舎 76-0110
- 吉野公民館 82-0452
- 寺家公民館 82-0837
- 吉野小学校 70-1311

消防道

消防道が壊れたら危険なので早く工事してほしい。

街灯がなく見通しが悪いので街灯をつけてほしい。

2年前落石があり危険なため工事が行われ安全になった。

浄水場の道がアスファルトに変わると大量の雨水がながれてくるので下の民家や畑に被害が出てくる。

県道263号

吉野さかお橋 歩道橋

吉里予木橋



- 赤線 避難経路として安全な道
- 黄線 避難経路するとき注意が必要な道
- 青線 避難経路するとき困難な道

マークの紹介

街灯あり	消火栓・ホース	神社	ガードレールなし
LED街灯あり	防災倉庫	坂道	鬼坂・階段

防災マップ作りを終えて～私たちの願い～

私たちの今年のテーマは、吉野地区の過去と今を見比べ、これからの未来を考えてもらうことです。学校へ上がる坂のよう壁や運動場のフェンス、汗見川のような壁などこれまでに先輩方が地域や本山町、高知県へ提言要望をし改善されたものが吉野地区には多くあります。今回はそのような点を念頭に過去の大雨などによる自然災害から学んだことをどう活かしているのかをもう一度確認することで、防災に強い吉野地区になってもらいたいと考えたからです。今回のフィールドワークで、浄水場の道がアスファルトになったことによる被害が明らかになってきたことがわかりました。階段横道の崩壊や下の民家への大量の雨水の流出など、とても危険です。排水溝を増やすなどの対策をお願いします。また、吉野小学校下の道路には、街灯がひとつもなく、夜には歩行者などに気づきにくく危険なので、ぜひ街灯を設置してほしいです。それに合わせ、学校下の消防道も崩れかけたままなので、早く工事をお願いします。

先輩たちの提言により、改善された箇所もたくさんありますが、防災に強い吉野地区の未来に向けて、吉野地区の皆さんにもう一度地域の状況を再確認してほしいと思います。

昔 雨がふるたびに石が落ちてきていたが、工事が終わるとようへきかできたので落ちてこなくなった。

昔 年月が経ち壁にひびが入っていたけれど、新しい壁ができたので安心して通れるようになりました。

吉里予小運動場

吉野小学校

救

LED

昔

今

昔は橋がくなく、もくごいがひびが、らんかんまで水がきていたけど、吉里予木橋が撤去され歩道橋ができ、安全にわたれるようになった。